

# TexTra Clipboard

TexTra Clipboardは  
様々なアプリ上のテキストを  
翻訳をするアプリケーションです。



「クリップボード」とは？  
コンピュータ上でよく行われる「コピー＆ペースト」の  
コピーを行った際に  
コピー内容を記憶しておく場所です。

TexTraクリップボードは  
他のアプリからコピーしたテキストを  
クリップボードから取得して  
翻訳します。

# インストール

- ・ インストール

Setup.exeを実行してください。

インストール後、デスクトップに

「TexTra Clipboard」というショートカットが作成されます。

※ インストール後、アプリケーション起動時に

「構成システムを初期化できませんでした。」というエラーが発生する場合、  
下記のフォルダ内の「TexTra Clipboard」という文字を含むフォルダを 削除し

C:¥Users¥(ユーザ名)¥AppData¥Local¥Microsoft\_Corporation

- ・ アンインストール

Windowsのコントロールパネル>プログラムと機能 から

TexTra Clipboardのアンインストールを行ってください。



# みんなの自動翻訳

TexTra ClipboardはWebサイト「みんなの自動翻訳」と連携して機能を実現します。

<https://mt-auto-minhon-mlt.ucr.ign-x.jp/>

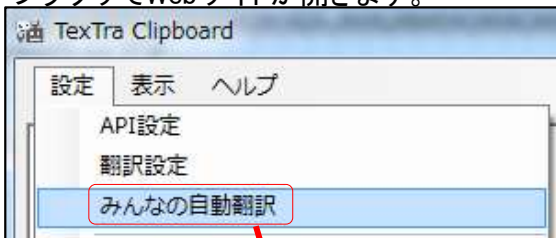
「みんなの自動翻訳」はブラウザ上で翻訳を行うためのWebサイトです。

このサイトの翻訳を補助する機能・データを

TexTra Clipboardから呼び出して利用します。

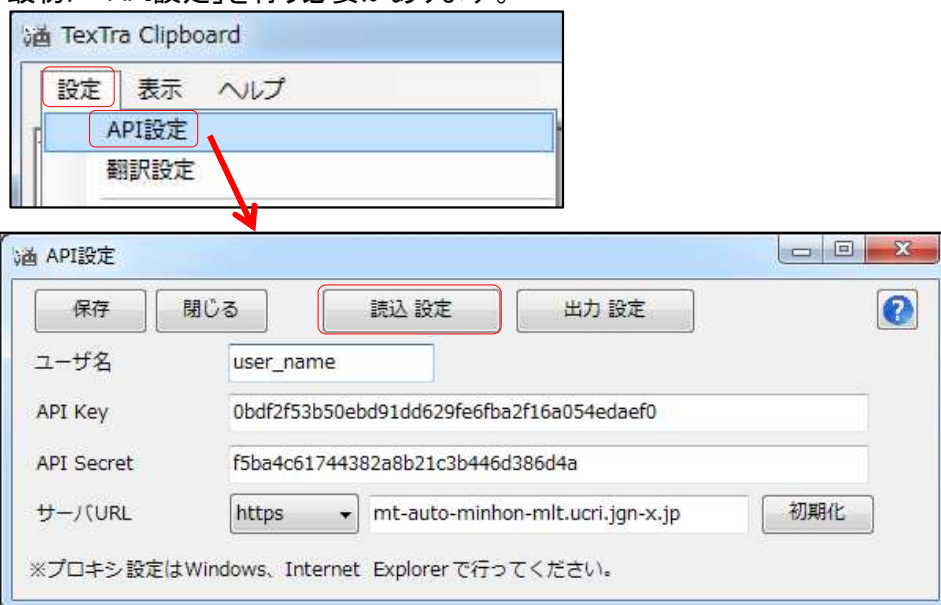
(以降、サイト「みんなの自動翻訳」を「Webサイト」と呼びます。)

「メニュー＞設定＞みんなの自動翻訳」を押すと、  
ブラウザでWebサイトが開きます。



# API設定

Webサイト「みんなの自動翻訳」を利用するために、最初に「API設定」を行う必要があります。



「読み込み設定」ボタンを押して、  
本アプリをダウンロードした際に、  
zipファイルに同梱されている「setup.ini」を指定してください。  
API設定が自動で行われます。

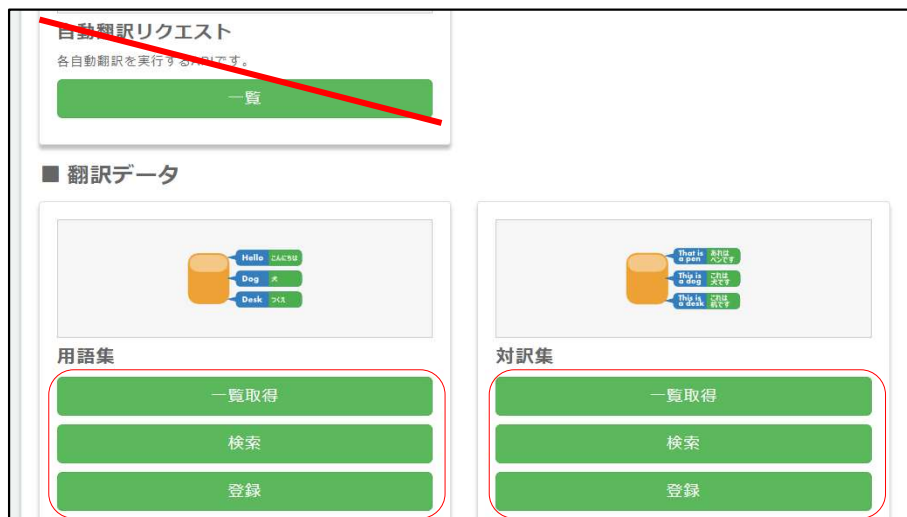
「setup.ini」の内容を  
手動で本画面に貼り付ける方法でも結構です。

※ この画面で入力するサーバURLは  
「翻訳設定」の項で説明される  
「機械翻訳APIのURL」ではありません。

Webサイト「みんなの自動翻訳」からも設定は取得可能です。  
ログイン後、メニュー＞ツール＞WebAPIを選択します。



Web API一覧からいずれかのURLボタンを押します。



表示された画面から「APIKey」「API Secret」をコピーして  
TexTra ClipboardのAPI設定画面に貼り付けます。

リクエストURL	
<code>https://mt-auto-minhon-mlt.ucri.jgn-x.jp/api/list/term/</code>	
API key	<code>0bdf2f53550ebd91dd699fe6fba2f16a054b</code>
API secret	<code>f5ba4c64744384a8b21b3b446b3</code>

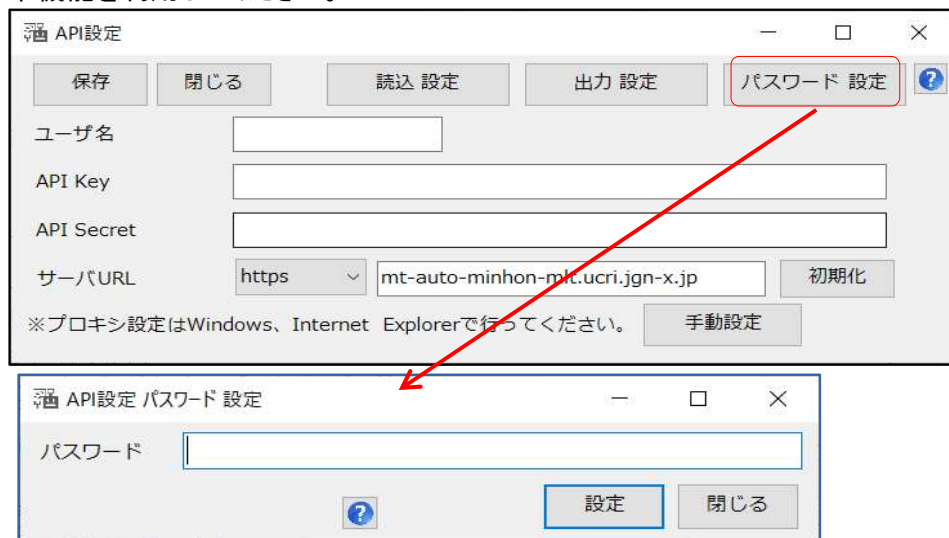
ユーザ名にはWebサイトログイン時のユーザIDを入力してください。

- ① APIサーバの設定です。  
通常、変更する必要はありません。  
URLを変更する場合は、  
プロトコル(http、https)の設定も行ってください。

※ 必要である場合、  
プロキシサーバ管理者に下記情報をお知らせください。  
ユーザーエージェント => 「TexTra Clipboard NICT」

- ・ パスワード設定(管理者向け)  
API設定画面を開くための  
パスワードを設定します。

API設定を管理者側で行い、  
アプリユーザに設定を見せたくない、という場合に、  
本機能を利用してください。



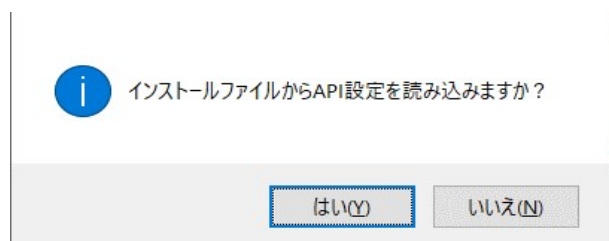
パスワード入力画面でリセットボタンを押すと、  
パスワードとAPI設定が消去されます。

- ・ 自動設定読込み(管理者向け)  
API設定を未設定時に  
API設定を自動で行う機能です。  
(API設定画面パスワードも設定されます。)

インストーラー、または、手動で  
インストールフォルダ(本プラグインのvstoファイルがあるフォルダ)に  
「api.ini」という名前の設定ファイルを配置してください。

設定ファイルは  
API設定画面でAPI設定を入力した後、  
「出力 設定」ボタンで出力してください。  
(設定ファイル内のパラメータは暗号化されます。)

API画面を開いた際、  
ファイルから設定を読み込むかどうか、  
メッセージが表示されます。



このメッセージを表示させたい場合は、  
API設定を消去してください。

# 翻訳設定

翻訳機能の設定を行います。



- ・ 翻訳API設定  
機械翻訳を行わせる翻訳APIを設定します。  
初期設定で翻訳は可能です。

他の言語の翻訳を行いたい場合や、  
専門分野の翻訳APIを使用したい場合などに  
設定の追加を行います。



この画面の一覧の機械翻訳設定は  
Webサイトで表示されるものです。  
(この画面で入力するURLは  
「API設定」の項の「サーバURL」とは異なるものです。)



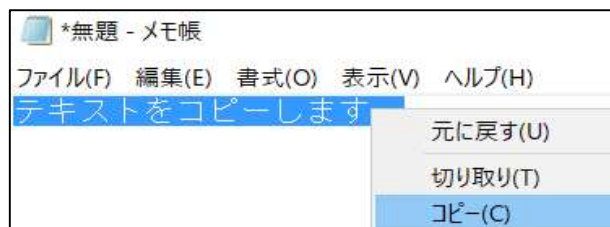
翻訳に使用する機械翻訳APIを追加する場合は  
この設定画面の一覧の最下列に追加することができます。





# 翻訳

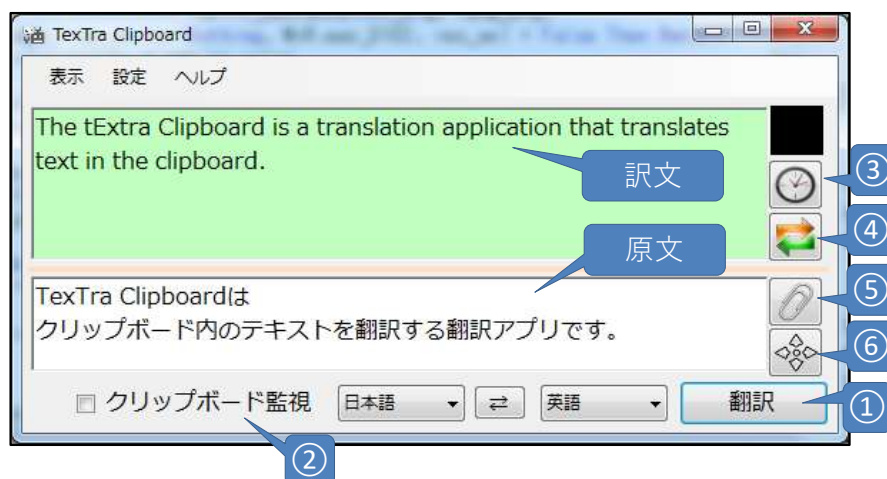
他のアプリ上で  
翻訳したいテキストを選択 & コピー、  
本アプリに貼付けて、翻訳を行います。



本アプリはクリップボードから  
テキストの取得を行います。

※クリップボード

テキストなどのコピー & 貼り付けを行う際に、  
コピーした情報を保存しておく場所。

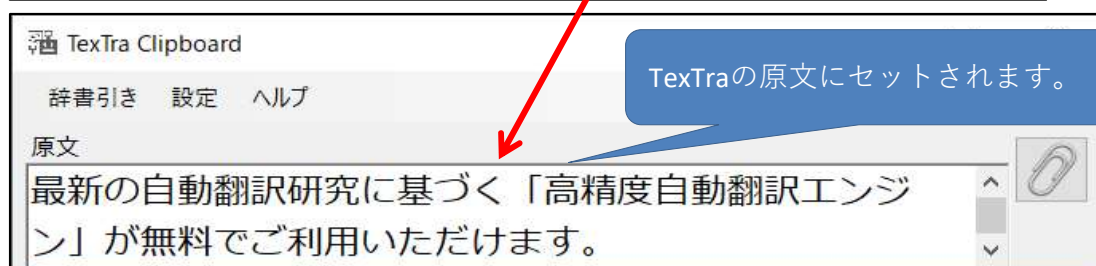


- ① 原文テキストボックス内のテキストを翻訳します。
- ② クリップボードにテキストをコピーするたびに  
自動で原文に貼り付けます。  
(テキストが翻訳以外に使われることはありませんが、  
個人情報やパスワードなどが送信されないように  
お気をつけください。)
- ③ 翻訳履歴を表示します。
- ④ 原文と訳文を入替えます。  
同時に、言語を入替えます。
- ⑤ クリップボードの内容を原文に貼付けます。  
ショートカットはCtrl+Vです。  
原文内で通常の貼付けを行いたい場合は  
Ctrl+Shift+Vで行ってください。
- ⑥ フォームのサイズを小さくして、  
サイズ復元ボタンのみを表示します。



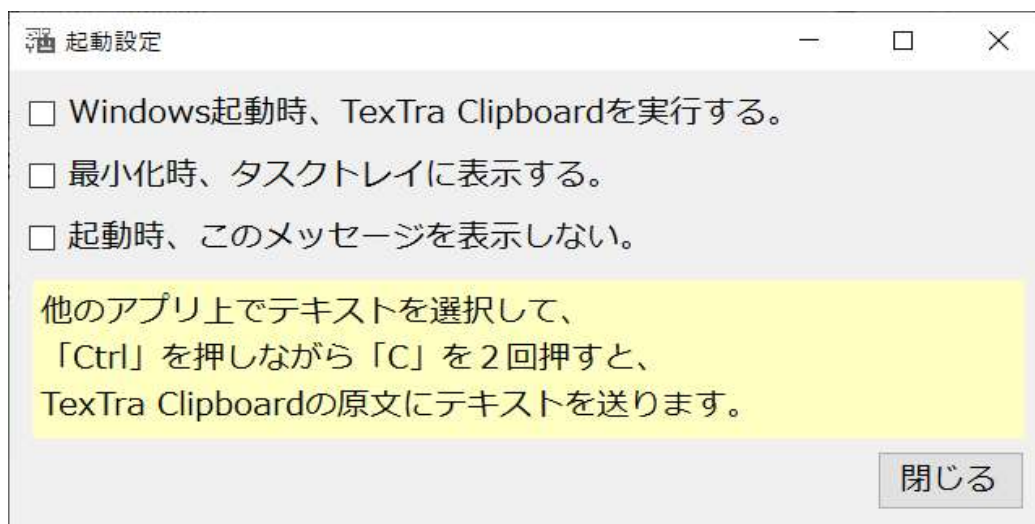
# 呼び出し翻訳

他のアプリからTexTra Clipboardを呼び出します。



この機能は本アプリ実行時に有効です。  
Windows起動時に自動で本アプリを実行する設定が便利です。

メニュー>設定>Windows起動時に起動する



# OCR

画像内のテキストをWindowsのOCR機能で取得して、  
翻訳を行います。  
(OCR = Optical character recognition)

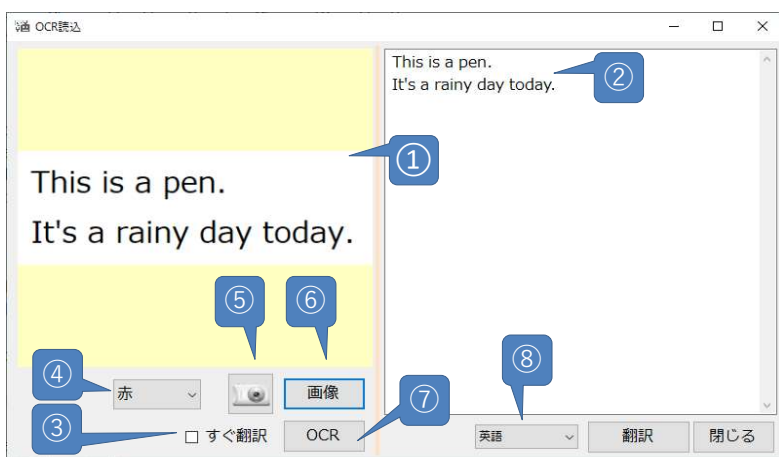
OCRとは？

<https://ja.wikipedia.org/wiki/光学文字認識>

言語ごとのWindowsのOCR対応状況

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/cognitive-services/computer-vision/language-support>

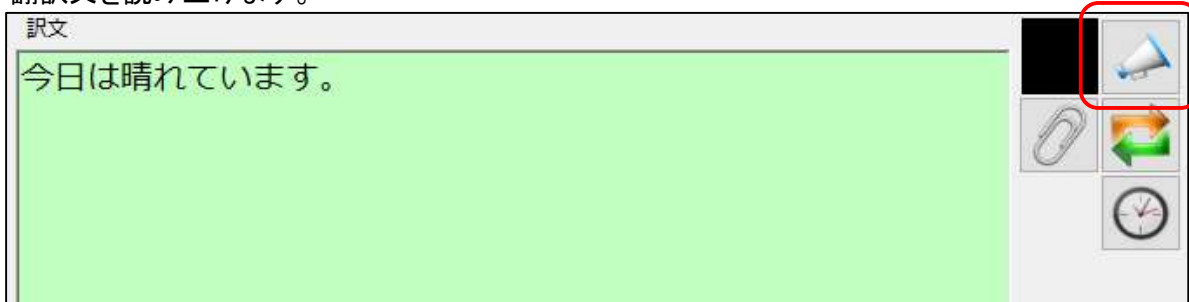
※ OCR機能はWindowsのOCR機能を利用しています。



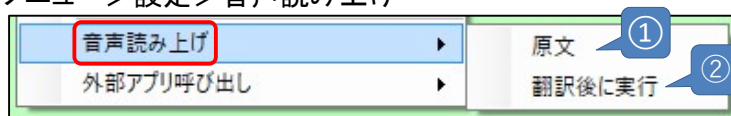
- ① 読み込み対象の画像です。  
ドラッグで、読み込む範囲を指定できます。
- ② 画像から読み込まれたテキストです。
- ③ 画像からテキストを読み込んだ際に、  
すぐに翻訳を実行します。
- ④ 画像内をドラッグした際に表示する、  
範囲を表す線の色を指定します。
- ⑤ Windowsの画面キャプチャー機能呼び出します。
- ⑥ クリップボードから画像を読み込みます。
- ⑦ 画像からテキストを読み込みます。
- ⑧ OCR、翻訳の言語を指定します。

# 読み上げ

翻訳文を読み上げます。



メニュー＞設定＞音声読み上げ



- ① 訳文の前に原文を読み上げます。
- ② 翻訳後に自動で読み上げを実行します。

この設定は、読み上げボタンを右クリックした場合も表示されます。



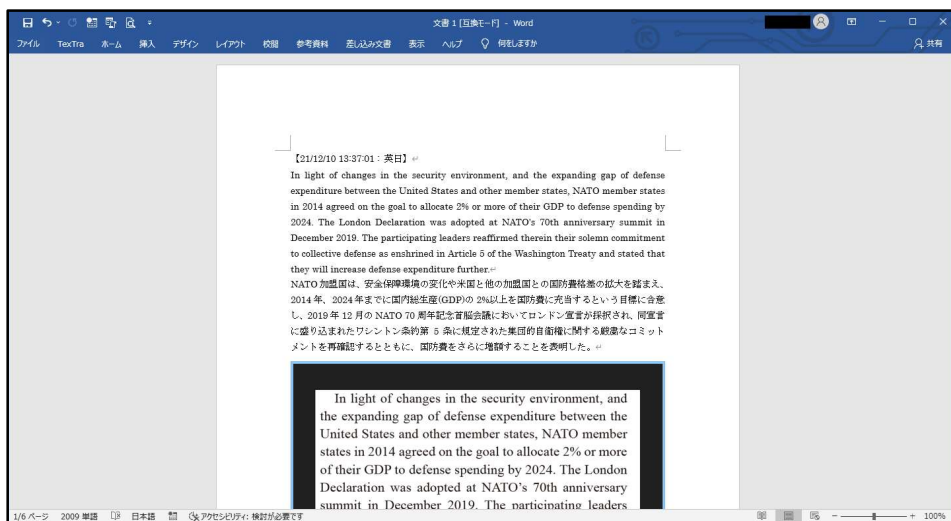
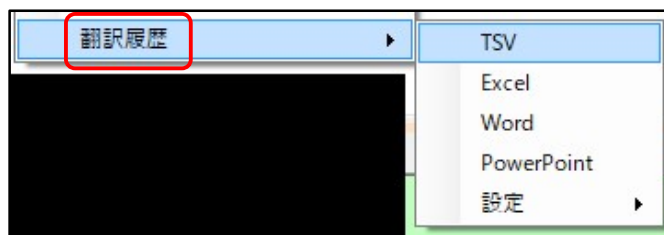
※読み上げ機能はWindowsの読み上げ機能を利用しています。  
特定の言語の音声機能を追加したい場合は  
Windowsで設定を行ってください。

Windows 10 用の音声合成言語をダウンロードする方法

<https://support.microsoft.com/ja-jp/topic/windows-10-用の音声合成言語をダウンロードする方法-d5a6b612-b3ae-423f-afa5-4f6caf1ec5d3>

# 翻訳履歴

翻訳履歴を出力します。  
メニュー＞ツール＞翻訳履歴



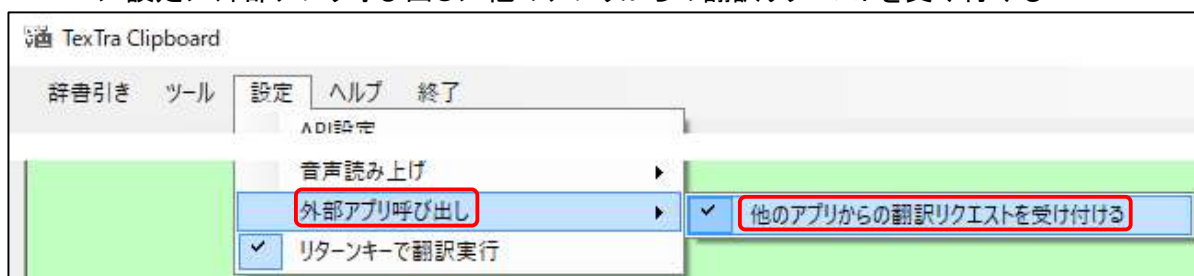
# アプリ間連携

※以下は、アプリケーション開発者向けの情報です。

クリップボードにJSON形式データの貼り付けることにより、  
翻訳を開始、翻訳結果の取得を行うことができます。

本機能を使用するにあたり、以下の設定をONにします。

メニュー＞設定＞外部アプリ呼び出し＞他のアプリからの翻訳リクエストを受け付ける



ご自身のアプリのヘルプ等でその旨をユーザー様にお伝え下さい。

以下のJSONデータ(リクエスト)をクリップボードに貼り付けてください。  
翻訳を開始します。

```
TexTra Clipboard EZLY4P4VLQdC
o_lang      ---  原言語
t_lang      ---  訳言語
o_text      ---  原文
return_result ---  結果出力設定
bring_to_front ---  翻訳実行後、画面を最前面に
time_request ---  リクエスト時間
id_app      ---  アプリID
```

o\_lang、t\_lang(任意)

デフォルトで「変更しない」です。

2桁の言語コード(後述)を指定します。

(例)英語→en、中国語繁体→tw、中国語簡体→cn

指定した言語の翻訳APIが、翻訳設定に登録されている必要があります。

o\_text(必須)

return\_result(任意)

翻訳終了時に翻訳結果をクリップボードに貼り付けます。

設定値は下記のとおりです。

1 - 結果を貼り付ける

デフォルトではクリップボードを消去します。

bring\_to\_front(任意)

翻訳終了時にメイン画面を最前面に表示します。

設定値は下記のとおりです。

1 - 最前面に表示

デフォルトでは最前面表示を行いません。

time\_request(任意)

データ形式は「YY/MM/DD H24:mm:ss」(例:22/02/15 15:10:30)です。

翻訳開始時間がこの時間から大きく離れていた場合、翻訳を行いません。

意図しない、クリップボード内容の送信を防ぎます。

id\_app(必須)

リクエストを送信したアプリを識別するためのIDです。

TexTra側で受け入れるIDの設定を行う必要があります。

メニュー>設定>外部アプリ呼び出し>アプリID設定

デフォルトで「EZLY4P4VLQdC」が設定されています。

(JSONデータ例)

```
{
  "TexTra Clipboard": {
    "id_app": "EZLY4P4VLQdC",
    "o_text": "明日は晴れです。",
    "o_lang": "ja",
    "t_lang": "de",
    "return_result": "1",
    "bring_to_front": "1",
    "time_request": "22/2/14 12:10:13",
  }
}
```

翻訳終了後、リクエストデータに下記のデータを追加して、  
クリップボードに貼り付けます。  
(リクエストデータのreturn\_result に"1"を設定してください。)

t_text	---	翻訳文
time_response	---	レスポンス時間
error	---	エラー時、"1"
error_message	---	エラーメッセージ

※ JSONデータ内、TexTra Clipboardの直下に  
任意のパラメータを追加した場合は  
上記、翻訳結果JSONにそのまま出力されます。  
IDなどの追加にご利用ください。

※ リクエストJSONデータが不完全であった場合、  
クリップボードにエラーを出力します。

※ JSON文字列の生成は専用のライブラリの使用をお薦めします。  
特殊文字のエスケープなどが自動で行われ、エラーの回避に役立ちます。

#### ・言語コード(一例)

日本語	ja
英語	en
中国語(簡体)	cn
中国語(繁体)	tw
韓国語	ko
ドイツ	de
フランス	fr
インドネシア	id
フィリピン	tl
スペイン	es
ベトナム	vi
ミャンマー	my
タイ	th
ポルトガル	pt
ポルトガル語(ブラジル)	pt_br
アラビア語	ar
イタリア語	it
ロシア語	ru
クメール語	km
モンゴル語	mn
ネパール語	ne